

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日立建機播州工場事務・厚生棟新築工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古郡稲美町岡字川向2680	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022/12/31 予定	評価の実施日	2021/11/29
敷地面積	6,763 m ²	作成者	松田平田設計 横山泰
建築面積	1,870 m ²	確認日	
延床面積	3,593 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5
Q3 室外環境(敷地内) 4
LR3 敷地外環境 4
LR2 資源・マテリアル 4
LR1 エネルギー 4
Q1 室内環境 4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	工場敷地内の事務厚生棟の計画。多くの従業員が利用する施設となるため、従業員同士の交流の場や発想の場を作る。太陽光パネルや木材の活用、遮熱性の高い外皮の採用など、総合的な環境配慮を行い、地域に貢献できる施設を目指す。2階の事務所と食堂、カフェスペースが階段により緩やかにつながり、多様な働き方を実現できるオフィスを目指した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
オフィスは3方開放し、執務室の中央にはハイサイドライトを設け、明るい執務空間となるよう計画した。外調機により十分な換気を確保するとともに、調湿機能により快適な執務空間を作る	共用部は、メンテナンス性の高い内装仕上げを採用する。非常用発電機、無停電装置、受水槽、井水利用など、災害時事業継続性にも配慮した計画とする。	既存の植栽の維持に加え、新設緑地帯や屋上緑化など建物周辺に緑豊かな環境を作る。建物を道路からセットバックさせ、圧迫感を低減させるなど、外部からの見え方にも配慮した配置計画。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Low-e複層ガラスや庇による日射遮蔽、十分な断熱計画など外皮の熱負荷低減、高効率な設備機器の採用により高い省エネ性能を確保。また、集中検針装置により各消費電力の見える化が可能な計画とし、より省エネルギーな運用を目標とする。	基礎躯体でのリサイクル材の利用や、兵庫県産木材の利用などのリサイクル材を積極的に活用し、建設時や将来の解体後のリサイクルも想定したサステナブルな建築計画。	シミュレーションを行い、卓越風の周辺建物への影響小さいことを確認。1階のレストランで出た生ごみはコンポスト化により減容するとともに、既存の植栽帯のたい肥としても再利用する計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される